

サステナブルなわかめと北限のオリーブ茶を使った商品開発について

学校名：宮城県石巻商業高等学校商品開発グループ 代表者名：関恒太郎

1 みどり戦略との関連性

◎「食品ロス」の軽減

近年、海の環境変化等によって、水産資源が減少しており「サイズが小さい」「加工に手間が掛かる」「見栄えがよくない」等といった理由から、廃棄されている水産資源を「何とかしたい」という思いから、研究活動がスタートしました。

2 目的

石巻のわかめは生産量が多く、市場でも高い評価を得ています。しかし、近年の海水温上昇等により、わかめに穴が開く現象が起きており「見栄えがよくない」等の理由から売り物にならず、漁業者はその部分を切り取って出荷します。その労力はコストとなり、切り取られた部分は食材としての価値があっても廃棄され、「食品ロス」となります。この問題に漁業者は頭を悩ませており「食品ロス」の軽減と「持続可能な漁業」の一助を目指して、穴の開いたわかめ（以下「穴あきわかめ」と称する）を使った商品開発に取り組みました。

3 取組内容

（１）「穴あきわかめ」を使ったサステナブルな商品開発の実践

- ①令和６年度に石巻市十三浜の漁業生産組合浜人と連携し、これまで廃棄されていた「穴あきわかめ」（乾燥させた物）の提供を受け、（株）シーズの協力を得て「サステナブルなわかめのポップコーン」を商品開発しました。
- ②令和７年度に農業法人ソーシオ・（株）MRC・（株）シーズと連携し、石巻地域の沿岸部で新たな特産品を目指している「北限のオリーブ茶」と「穴あきわかめ」を使った「オリーブnaわかめナッツ」の商品開発を行いました。

（２）上記開発商品は令和６年１０月より「いしのまき元気市場」「道の駅上品の郷」「イオン利府店北館１階こもれび」（ポップコーンのみ）で店頭販売されています。

4 結果

- （１）令和７年９月までの１年間で累計８１０個を販売しました。
- （２）１袋あたり４ｇの「穴あきわかめ」を使用しており、３，２４０ｇの乾燥わかめの「食品ロス」を軽減しました。
- （３）乾燥わかめは水に戻すと約１０倍の重量となり、総務省家計調査の国民一人あたりの年間消費量２２０．１ｇに換算すると約１４７人分の「食品ロス」を軽減できました。



R 7. 4. 26
テストマーケティング



R 7. 5. 1 石巻元気市場
店頭販売開始



R 7. 5. 3 上品の郷
店頭販売開始

サステナブルなわかめと北限のオリーブ茶を使った商品の
内部環境と外部環境から行った『SWOT分析』



サステナブルなわかめと北限のオリーブ茶を使った商品の
市場での競争優位性から行った『VRIO分析』

Y E S N O で 評 価	① 価値 (Value):	YES
	② 希少性 (Rarity):	YES
	③ 模倣可能性 (Imitability):	YES
	④ 組織 (Organization):	NO

5 考察・まとめ（販売活動でのアンケート調査より）

- （１）地球温暖化による食料不足が心配される中で、消費者はSDGsやサステナブルに配慮した商品を選ぶようになってきています。
- （２）物価高騰により価格が安い商品を選ぶ消費者が多い一方、少々価格が高くても健康に良い商品を買いたい消費者が一定数存在しています。